

平成25年度「全国学力・学習状況調査」における常盤小学校の結果の分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成25年4月24日(水)に、6年生を対象として、「教科(国語・算数)」に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科を含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

- ・国・公・私立小学校の第6学年、中学校第3学年
- ・常盤小学校では、6年生222名

3 調査内容

- (1) 教科の関する調査

主として「知識」に関する問題 【国語A・算数A】	主として「活用」に関する問題 【国語B・算数B】
<ul style="list-style-type: none">・身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など	<ul style="list-style-type: none">・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

- (2) 児童生徒質問紙調査

児童生徒質問紙調査
・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査

平成25年度「全国学力・学習状況調査」検証シート

常盤小学校

児童数

222

平均正答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	72.1	57.2	84.4	68.9
大阪市	59.1	46.6	75.9	56.4
全国	62.7	49.4	77.2	58.4

平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	5.5	6.7	0.6	3.1
大阪市	11.5	14.2	1.9	6.5
全国	10.7	13.6	1.7	6.3

結果の概要

- ・国語AB、算数ABとも大阪市平均、全国平均を上回ることができた。
- ・国語では領域別で比較すると、国語Aでは話すこと・聞くこと、国語Bでは書くことに課題が見られる。
- ・算数科では領域別で比較すると算数Aでは量と測定、算数Bでは数と計算に課題が見られる。
- ・家庭で宿題をしたり復習したりするなど計画的に学習する習慣が身についている。
- ・基本的な生活習慣においては朝食喫食率、睡眠時間が大阪市平均、全国平均と比べて低く、課題が見られる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- ・児童の実態を把握し、きめ細やかな教科指導に努めてきた結果、国語・算数とも着実に力をつけてきている。
- ・家庭での宿題、復習等、自主的な学びの習慣も着実に身についてきている。
- ・今後も全教科において、言語を意識した学習活動を取り入れていく必要がある。その中でも「話す」「書く」に焦点を当て必要な言語環境を整え、自分の意見を積極的に発信できる力をつけていく。
- ・学びの習慣はついているものの、「予習」の学習習慣においては課題が見られる。「予習」の学習習慣が身に付くよう、家庭学習の方法等、指導していく。

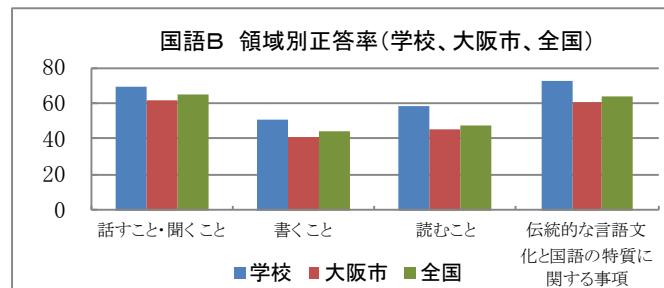
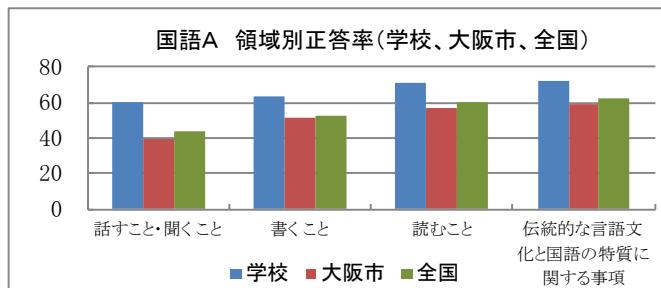
【国語】

結果の概要

- ・国語科的好感度と比例して平均正答率も高い数値を示している。
- ・国語科A・Bとも全国・大阪市平均を上回っている。
- ・領域別に見ると国語科Bの「書くこと」に課題が見られる。

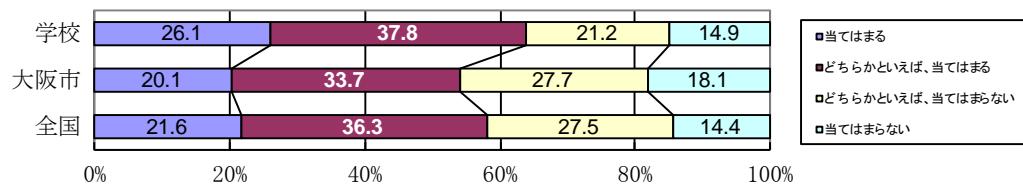
A 問 題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	60.4	39.5	43.2
	書くこと	4	63.6	51.1	53.0
	読むこと	3	70.7	56.8	60.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	15	71.7	58.7	62.6

B 問 題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	69.4	61.7	64.8
	書くこと	4	51.2	41.0	43.8
	読むこと	4	58.1	45.1	47.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	72.1	61.0	63.8

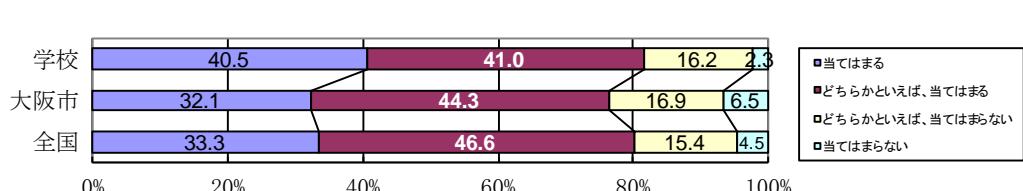


国語に関する「児童質問紙」

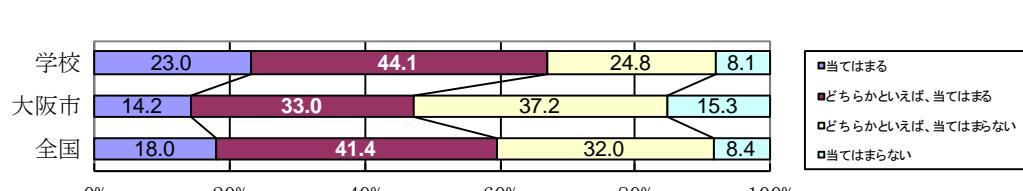
I 53	II 52	III 62
国語の勉強は好きですか		



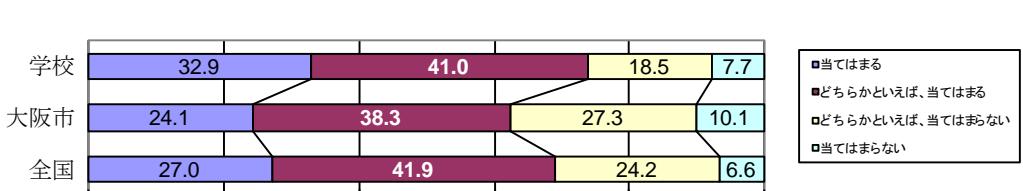
I 55	II 54	III 64
国語の授業の内容はよく分かりますか		



I 58	II 57	III 67
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか		



I 60	II 59	III 69
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるよう気を付けて書いていますか		



成果と課題

(国語A)・既習の漢字の書き取りが定着していない傾向がある。漢字の読みは高い正答率を示している。

・文と文とのつながりを考えて接続語を使って内容を分けて書くことが著しく落ち込んでいる。

(国語B)・目的や意図に応じて引用して書いたり自分の考えを書いたりするが大きく落ち込んでいる。

・目的に応じて内容を関係付けて自分の意見を書くことがほとんどできていない。

今後の取組

- ・授業の中で読み取った内容を関係付け自分の考えを書く機会を多くしていく。
- ・2つ以上の文を1文に書き換えたり、2つ以上の内容が含まれた1文を内容ごとに分けて書く指導を取り入れていく。

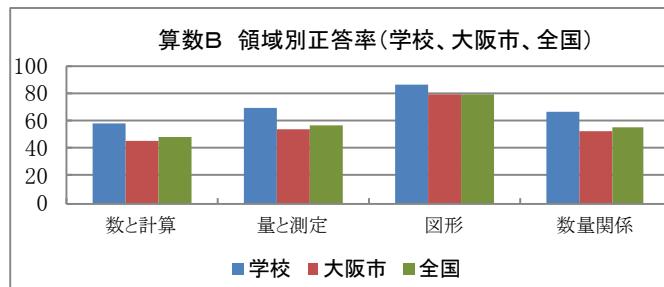
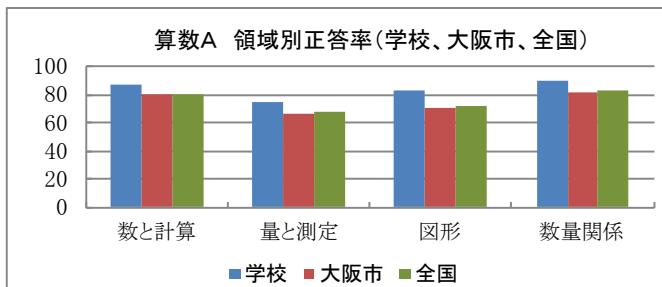
【算数】

結果の概要

- ・算数A、Bとも全国・大阪市平均を上回っている。
- ・領域別にみると、4領域のうち算数Bの「数と計算」領域が正答率が低い。
- ・算数Bでは「図形」「技能」「知識」は高い正答率を示しているが「数学的な考え方」「記述式」の項目で低い数値を示している。

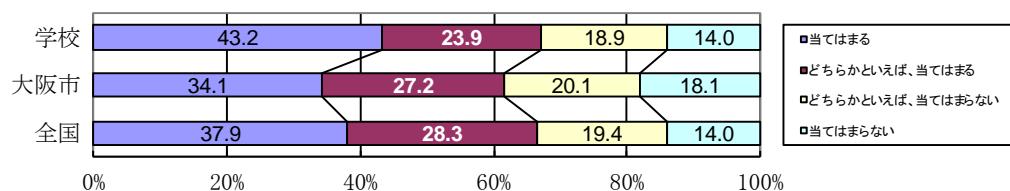
A 問題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と計算	8	87.2	79.8
	量と測定	4	74.2	66.0
	図形	3	82.7	70.2
	数量関係	4	90.5	82.2

B 問題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と計算	3	57.8	45.7
	量と測定	7	68.9	54.1
	図形	3	86.0	78.8
	数量関係	7	66.3	52.4

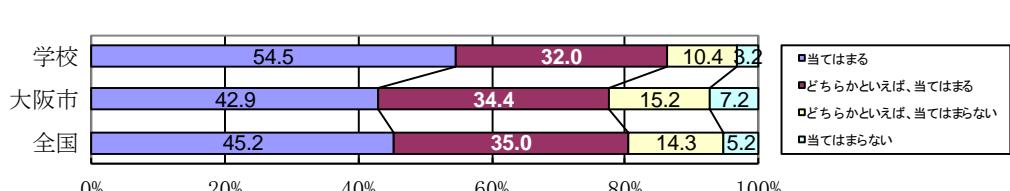


算数に関する「児童質問紙」

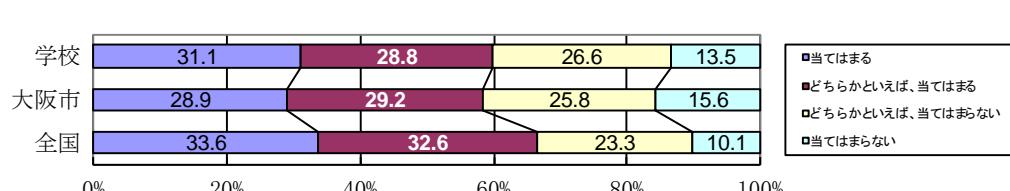
I 73	II 62	III 72
算数の勉強は好きですか		



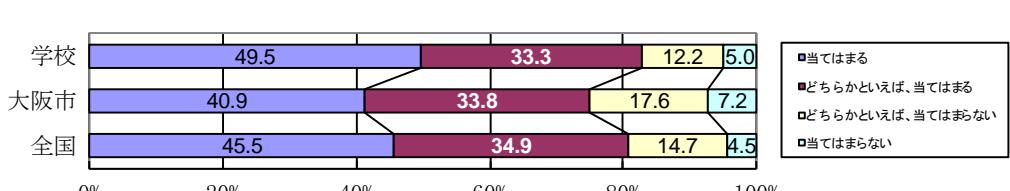
I 75	II 64	III 74
算数の授業の内容はよく分かりますか		



I 78	II 67	III 77
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか		



I 81	II 70	III 80
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか		



成果と課題

- ・算数Aでは「単位量あたりの大きさを求める除法の式の意味」に課題が見られる。
- ・算数Aでは数量や図形についての技能については、ほとんどの児童ができる。
- ・算数Bでは「情報を整理し筋道を立てて考え、すべての条件に当てはまるものを選ぶ」ことに課題がある。
- ・算数Bでは数量や図形についての知識・理解問題は多くの児童ができる。

今後の取組

- ・1あたり量を求めるために図を基に数量関係を正しくとらえる活動を重視していく。
- ・記述式の問題に課題があるため、根拠を明確にして説明する活動を取り入れていく。

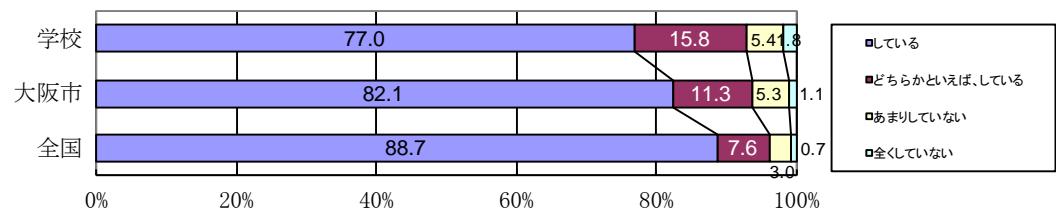
基本的生活習慣・自尊感情・規範意識

結果の概要

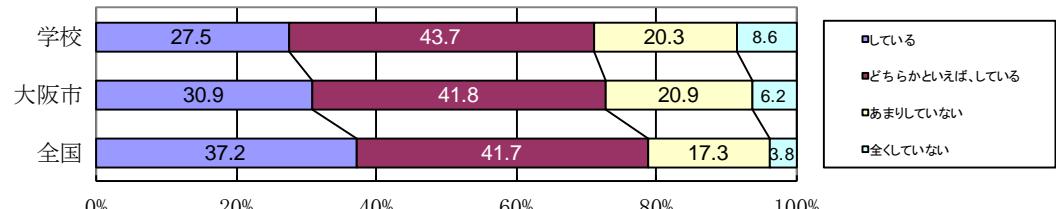
- ・基本的な生活習慣は身についているが、「朝食喫食率は市平均より5%、全国平均より11%低い。
- ・就寝時刻も大阪市平均より3%、全国平均より10%低い数値を示している。就寝時刻が一定していない傾向がある。
- ・「自分にはよいところがある」という自尊感情は大阪市平均・全国平均よりも高い数値を示している。
- ・「学校のきまりを守っていますか」という規範意識も大阪市平均より10%高く、ほぼ全国平均と同じくらいの数値を示している。

質問番号	質問事項
------	------

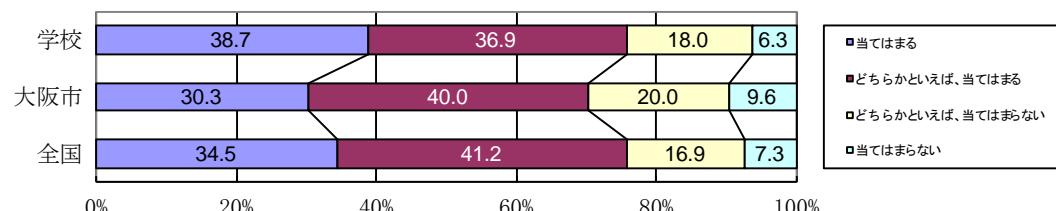
I 1 II 1 III 1
朝食を毎日食べていますか



I 2 II 2 III 2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



I 6 II 6 III 6
自分には、よいところがあると思いますか



I 44 II 41 III 44
学校のきまりを守っていますか



成果と課題

「学校のきまりを守っていますか」の問い合わせには、肯定的意見が高い数値を示している。これまでの生活指導の取組の効果が出ている。また、朝食喫食率、就寝時間の一定化など課題が見られるため、基本的生活習慣を見直す必要がある。

今後の取組

朝食喫食率を高めるため、「食育」等の取組を進めていき、家庭と連携して高めていく必要がある。同様に、就寝時間についても改善を図る必要がある。

家庭学習・読書・学びの質の改善：言語力の育成

結果の概要

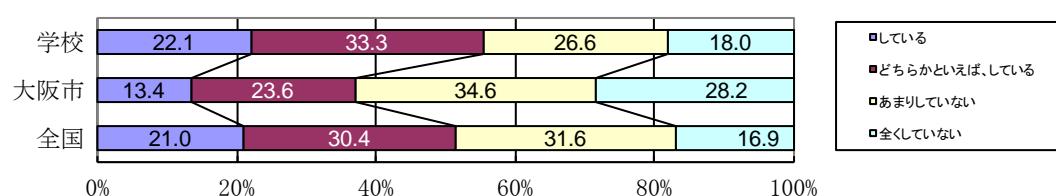
- ・宿題の徹底、また家庭へかえってからの復習等の基本的学習習慣は確実に身についている。
- ・「読書は好きですか」の問い合わせにも高い数値を示している。
- ・学習中、自分の考えを書いたり、話したりして伝えることに苦手意識をもっている児童が多い。

質問番号	質問事項
------	------

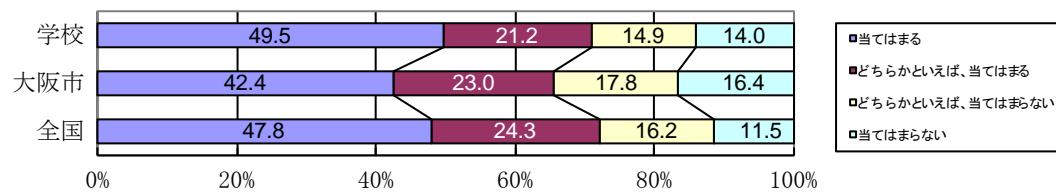
I 30 II 25 III 35	家で、学校の宿題をしていますか
-------------------	-----------------



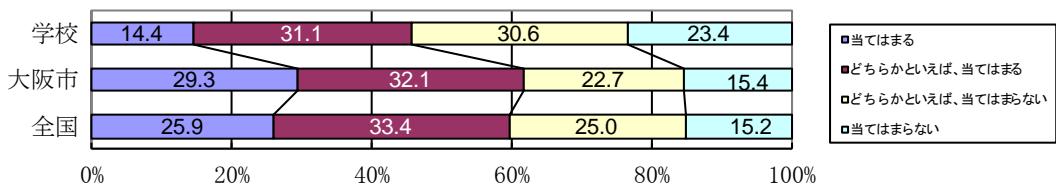
I 32 II 27 III 37	家で、学校の授業の復習をしていますか
-------------------	--------------------



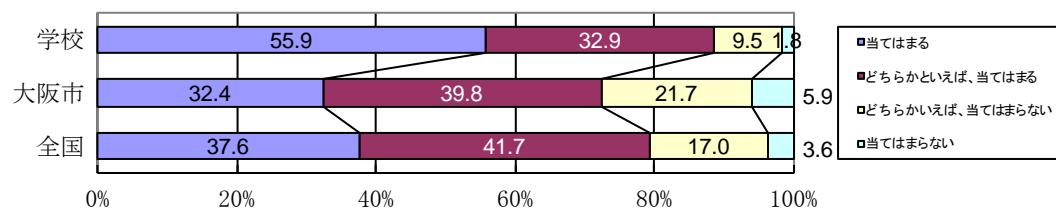
I 56 II 55 III 65	読書は好きですか
-------------------	----------



I 52 II 51 III 60	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか
-------------------	--



I 50 II 48 III 56	普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか
-------------------	---------------------------------------



成果と課題

- ・宿題の徹底、復習の基本的学習習慣は確実に身についている。
- ・読書を好む児童が多く、読書習慣が身についている。

今後の取組

- ・学習中、友達に自分の意見を伝えたり、書いたりするすことに苦手意識を持っている児童が多い。今後も発表の機会を多くするなど「場」の工夫を行うことで、言語力を意識した授業の改善を図り、課題の克服に努めていく。